

平成13年12月18日

各位

上場会社名 加賀電子株式会社
コード番号 8154 東証第一部
ナスダック・ジャパン市場
本社所在地 東京都文京区音羽1丁目26番1号
代表者の
役職氏名 取締役社長 塚本 勲
問合せ先 常務取締役 藤田 弘雄
管理本部長
TEL 03-3942-6211

平成14年3月期の業績予想の修正について

[] 業績予想の修正について

平成14年3月期(平成13年4月1日～平成14年3月31日)の業績予想については平成13年11月15日の決算発表時に修正発表をしておりますが、下表のとおり修正いたします。

1. 連結業績(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

	単位	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	百万円	145,000	4,100	1,600
今回予想(B)	百万円	145,000	4,100	1,900
増減額(B)-(A)	百万円	-	-	300
増減率	%	-	-	18.8
前期実績	百万円	162,167	8,165	4,093

2. 単体業績(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

	単位	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	百万円	85,000	3,200	730
今回予想(B)	百万円	85,000	3,200	1,000
増減額(B)-(A)	百万円	-	-	270
増減率	%	-	-	37.0
前期実績	百万円	106,269	6,635	2,604

[] 業績予想の修正理由

「プリンストン債」に係る投資損失訴訟における被害補償額の受取合意について

当社は、他の 50 社を超える日本企業とともに、マーティン・アームストロング氏が支配するプリンストン・エコノミックス・インターナショナル・リミテッドの関連会社が発行し、リパブリック社（現 HSBC・USA・インク）およびリパブリック・ナショナル・バンク・オブ・ニューヨーク（現 HSBC・バンク・USA）の関連会社であるリパブリック証券が資産管理者を務める「プリンストン債」に係る投資について生じた損失の回復を求めて、米国連邦裁判所において訴訟提起を行っておりました。

今般、米国連邦検事局の働きかけにより、リパブリック証券は、本件投資スキームにおける自らの関与につき有罪答弁を行い、リパブリック証券および HSBC・USA・インクは、当社を含む社債権者に対する被害補償を行うことに合意しました。当社は、リパブリック証券および HSBC からの約 460 百万円の被害補償額の支払を受けることと引き換えに、リパブリック証券および HSBC ならびに他のリパブリックまたは HSBC の関連会社に対する、プリンストン債に関するそれ以上の一切の請求を行わないことに合意しました。

かかる被害補償額に加えて、当社は清算手続き中のプリンストン・グループの残余財産からの配当として、現時点での見積もりによれば、最大約 407 千米ドルを受領することが見込まれております。

以 上